

『リウマチ病学テキスト』（初版第1刷） 正誤表

上記書籍に下記の誤りがございます。

第2刷以降では修正されております。

頁	誤	正																
231	<p><b>表 5 PM/DM の薬物療法</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">薬剤名</th> <th style="width: 25%;">商品名</th> <th style="width: 25%;">投与方法</th> <th style="width: 25%;">注意すべき副作用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン*</b></td> <td>ヴェノグロブリン-IH<sup>®</sup></td> <td>400mg/day を5日間点滴静注を1~3か月ごとあるいは1,000mg/day を2日間点滴静注</td> <td>ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	商品名	投与方法	注意すべき副作用	<b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン*</b>	ヴェノグロブリン-IH <sup>®</sup>	400mg/day を5日間点滴静注を1~3か月ごとあるいは1,000mg/day を2日間点滴静注	ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">薬剤名</th> <th style="width: 25%;">商品名</th> <th style="width: 25%;">投与方法</th> <th style="width: 25%;">注意すべき副作用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン</b></td> <td>ヴェノグロブリン-IH<sup>®</sup></td> <td>400mg/kg/day を5日間点滴静注</td> <td>ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	商品名	投与方法	注意すべき副作用	<b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン</b>	ヴェノグロブリン-IH <sup>®</sup>	400mg/kg/day を5日間点滴静注	ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓
薬剤名	商品名	投与方法	注意すべき副作用															
<b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン*</b>	ヴェノグロブリン-IH <sup>®</sup>	400mg/day を5日間点滴静注を1~3か月ごとあるいは1,000mg/day を2日間点滴静注	ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓															
薬剤名	商品名	投与方法	注意すべき副作用															
<b>γ-グロブリン大量静注療法として、ポリエチレングリコール処理ヒト免疫グロブリン</b>	ヴェノグロブリン-IH <sup>®</sup>	400mg/kg/day を5日間点滴静注	ショック, 肝障害, 発熱, 皮膚発疹, 血栓・塞栓															
232	<p><b>c) γ-グロブリン大量静注療法</b>  γ-グロブリン*大量静注（intravenous high-dose immunoglobulin therapy ; IVIG）療法は、γ-グロブリン*1,000mg/kg/day を毎月2日間、あるいは400mg/kg/day を毎月5日間投与する治療法で、・・・</p>	<p><b>c) γ-グロブリン大量静注療法</b>  γ-グロブリン大量静注（intravenous high-dose immunoglobulin therapy ; IVIG）療法は、γ-グロブリン <u>1日400mg/kg/day を5日間投与する治療法で、・・・</u></p>																
282	<p><b>表 1 結節性多発動脈炎（PAN），顕微鏡的多発血管炎（MPA）</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">y</th> <th style="width: 35%;">PAN</th> <th style="width: 35%;">MPA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分布と局在 末梢神経障害</td> <td>○(50~80%)</td> <td><u>△(10~20%)</u></td> </tr> </tbody> </table>	y	PAN	MPA	分布と局在 末梢神経障害	○(50~80%)	<u>△(10~20%)</u>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">y</th> <th style="width: 35%;">PAN</th> <th style="width: 35%;">MPA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分布と局在 末梢神経障害</td> <td>○(50~80%)</td> <td><u>○(60%)</u></td> </tr> </tbody> </table>	y	PAN	MPA	分布と局在 末梢神経障害	○(50~80%)	<u>○(60%)</u>				
y	PAN	MPA																
分布と局在 末梢神経障害	○(50~80%)	<u>△(10~20%)</u>																
y	PAN	MPA																
分布と局在 末梢神経障害	○(50~80%)	<u>○(60%)</u>																

以上、訂正するとともに謹んでお詫び申し上げます。

以上